

## 記録的降雪量に被災地では……

2月4日から寒波の影響で日本海側を中心に大雪となり、建物の倒壊や立ち往生が発生しています。石川県珠洲市では、2024年の能登半島地震で半壊の状態だった納屋が雪の影響で倒壊しました。

近隣住民は「朝8時半ぐらいに通ってみると崩れていた。昨年の地震以降、傾いていました。かろうじて建っているという状況でした」と話しました。持ち主は不在のためけが人はいませんでしたが、輪島市でも解体予定の建物が倒壊したということです。(2025年2月8日 FNN オンラインニュースより)



日本海側を中心に大雪続く

建物倒壊や立ち往生発生

石川・珠洲市  
午前10時ごろ

半壊状態の納屋が雪で倒壊

FNN



(2025年2月6日 NHK より)

## 消雪装置が使えない?!

能登半島地震で大きな被害を受けた石川県輪島市や珠洲市など「奥能登」地域の4市町で、道路に設置された消雪装置が、9割の道路で故障などにより使用できなくなっていることが6日、県や各市町への取材で分かった。地中の配水管が損傷するなどしており、復旧には長期間かかる見込み。4日からの寒波で能登地方も積雪が増えているが、住民の不安解消は見通せない状態だ。



日本各地で地下の下水管の老朽化や被災地の液状化が懸念されながら、**消雪装置の故障**も復興作業の遅れとなりかねない。

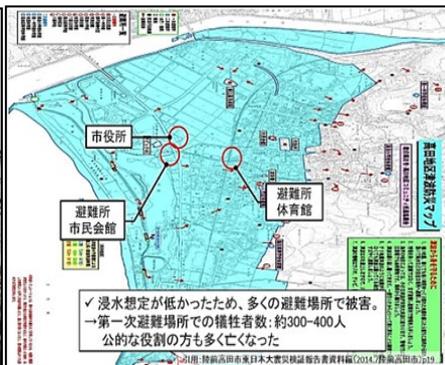
消雪装置は、道路の中に埋め込んだパイプに地下水を通し、道路にまいて雪を溶かす。道路が隆起するなどし、地中に埋まっている配水管や散水管が損傷したり、配電盤が破損したりすると、雪を溶かすための水を送れなくなってしまう。

自宅前の装置が壊れている能登町の女性(82)は「大雪が降った時に除雪作業が大変だ」と困惑。設備が使えないことで路面が見えづらくなり、転倒などのリスクも高まる。輪島市の自営業者(79)の自宅前は30センチほど積雪し、「路面が凍結して滑ってけがをするかもしれない」と不安げに話した。珠洲市のタクシー運転手の男性は「除雪されていない場所もあり、走るのが怖い。いつもの1.5倍は走行に時間がかかる」と語った。(2025年2月7日 共同通信より)

# 中学2年総合 陸前高田市オンライン授業

先日、1月30日（木）中学2年総合の時間に、岩手県陸前高田市役所とオンラインで結び、建設部土地活用推進課の佐藤賢さんより「陸前高田市における復興まちづくり」と題して、お話を伺いました。（掲載している資料は、当日配信されたものです）

**陸前高田市**は、2011年3月11日に発生した東日本大震災で甚大な被害を受けました。津波により市内の多くが壊滅し、多くの命と資産が失われました。しかし、震災後は市民の努力と団結により復興が弛むことなく進められ、高田松原津波祈念公園が整備され、津波の脅威を伝える場所となり、津波伝承館「いわてTSUNAMIメモリアル」では震災の教訓が展示されています。地域の観光業や農業が再生し、奇跡の一本松が観光資源となり、多くの観光客が訪れるようになってきている様子を今回は教えて頂きました。防災教育や地域防災計画の強化、防災対策の見直しにより、住民の対応力も顕著に向上しているとのこと。市民の「希望と努力」により、陸前高田市は力強く住みやすいまちづくりを目指して前進され続けている様子を行政の立場から、多くの視覚資料を示しながらの説明していただきました。一度お訪ねしたいものですね。

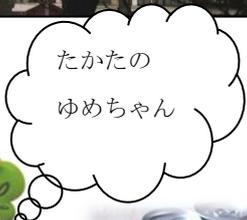


↑ 佐藤さんのお話しを聞きメモを取り、振り返りシートもしっかり提出できました。

←「洪水の設定が低かったため、多くの避難場所です甚大な被害が出ました」



←新市街地でも祭りが再開されています。



## ゆめちゃんおススメ 陸前高田のうまいものグルメ



陸前高田市 PR マスコット



↑ 甘酸っぱい 木崎のリンゴジュース

↓ 美味しいよ♥ サロンドロワイヤルのピーカンナッツ



サロンドロワイヤル 京都伊勢丹、嵐山店、京都店（中京区木屋町）でも、手に入ります。



牡蠣



佐々木朗希